

九州厚生局長 殿

開設者名 国立大学法人
長崎大学長 片峰

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 4 年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	46人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第 12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第 13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	294人	286人	570.8人	看護補助者	90人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	99人	74人	173.4人	理学療法士	19人	臨床検査技師	59人
薬剤師	57人	0人	57.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	8人	その他	4人
助産師	29人	0人	29.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	786人	10人	792.3人	臨床工学技士	16人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	4人
歯科衛生士	11人	4人	15.0人	歯科技工士	5人	事務職員	236人
管理栄養士	6人	8人	14.0人	診療放射線技師	40人	その他の職員	43人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	708人	19人	727人
1日当たり平均外来患者数	1,259人	451人	1,710人
1日当たり平均調剤数			2,621剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除術	5 人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	9 人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	0 人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	19 人
食道アカラシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	10 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
頸部内視鏡手術 甲状腺濾胞腺腫、腺腫様甲状腺腫、バセドウ病又は原発性上皮小体機能亢進症	7 人
残存聴力活用型人工内耳挿入術 両側性感音難聴(高音障害急墜型又は高音障害漸傾型の聴力像を呈するものに限る)	1 人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る)	0 人
ペメドレキサド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る)	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	アスペルギルスの薬剤感受性測定	取扱患者数	200人
当該医療技術の概要 重要な糸状菌であるアスペルギルスの薬剤感受性は一般化されていないが、薬剤耐性の頻度が増加しているとされている。当科では他施設に先駆けて、薬剤感受性試験を確立し、臨床分離株の薬剤感受性を測定している。			
医療技術名	呼気一酸化窒素濃度測定	取扱患者数	510人
当該医療技術の概要 気管支喘息患者において、呼気一酸化窒素濃度を測定することで、好酸球性気道炎症の評価を行い、喘息疾患コントロールに応用している。			
医療技術名	アストグラフを用いた気道過敏性検査	取扱患者数	45人
当該医療技術の概要 アストグラフJupitor21®を用いた気道過敏性の測定を、気管支喘息の診断に役立っている。			
医療技術名	エコーガイド下気管支鏡検査を用いて得られた肺癌検体を用いた個別化治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 エコーガイド下(EBUS-GS)気管支鏡検査を用いて肺癌患者から組織検体をリアルタイムで採取する。その検体のDNA解析(EGFR遺伝子変異の有無)およびメッセンジャーRNA解析(ERCC1とEML4-ALK)を行い、抗癌剤の感受性を予測して肺癌患者に対して個別に適切な抗癌剤を選択投与する。			
医療技術名	住居関連過敏性肺炎の原因真菌の推定	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 住居関連性過敏性肺炎の原因の一つとして環境真菌が重要であるが、各種真菌に対する沈降抗体測定、および居住環境を調査し、環境真菌の検出を行うことにより、住居関連性過敏性肺炎の原因となった真菌の推定・特定を行う。			
医療技術名	家族性高コレステロール血症に対するLDLアフェレーシス	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 家族性高コレステロール血症は、LDL受容体遺伝子異常により発症する常染色体優性遺伝子疾患である。高LDLコレステロール血症を呈し、早期に冠動脈疾患を生じる。当院では家族性高コレステロール血症に対して、LDLを除去するLDLアフェレーシスを行っている。			
医療技術名	臍帯血移植	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 成人T細胞白血病リンパ腫をはじめとした難治性の血液疾患に対して、骨髄破壊的/非破壊的な前処置を施行し、幹細胞源として臍帯血を用いた同種造血幹細胞移植を施行している。			
医療技術名	生体肝移植術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 ウイルス性もしくはアルコール性非代償性肝硬変患者さんに対する根本的な治療となる。健常ドナーの肝臓の一部をレシピエントに移植するもの。肝細胞癌の治療としても有用性が確立している。			
医療技術名	腹腔鏡下腓尾側切除術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 腓癌をはじめとする腓体部、尾部に主座をおく腓腫瘍に対して従来、開腹手術にて行われた腓尾側切除を腹腔鏡下にて行うもの。手術創が小さいため、整容性に優れ、低侵襲である。			
医療技術名	腹腔鏡下直腸脱手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 高齢者に多い直腸脱に対して従来、開腹手術にて行われた直腸固定術を腹腔鏡下にて行うもの。手術創が小さいため、整容性に優れ、低侵襲である。			

医療技術名	肝胆膵領域の難治性治療抵抗性癌に対する樹状細胞ワクチン療法	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 難治性、治療抵抗性の肝胆膵領域の癌に対して、自分の細胞を使って作製したワクチンを用いたオーダーメイド医療。			
医療技術名	腹腔鏡下肝切除術	取扱患者数	41人
当該医療技術の概要 腹腔鏡補助下にて肝を切除することによって、手術侵襲の低減を図るもの。手術創が小さいため、術後の頭痛が少なく、整容性にも優れる。			
医療技術名	内視鏡補助下甲状腺切除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 前胸部に切開創をおき、内視鏡補助下に甲状腺切除を行うもの。衣服着用により手術創が隠れ、整容性に優れる。			
医療技術名	進行性尿路癌患者における低用量gemcitabin + paclitaxice療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 初回化学療法が無効であった進行性尿路癌患者に対する低用量gemcitabin + paclitaxice療法を用いた新たな集学的治療の構築。			
医療技術名	難治性間質性膀胱炎に対するヘパリン-リドカイン膀胱内注入療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 既存の治療法では症状の改善を得られない重度の間質性膀胱炎患者に対して、ヘパリン-リドカイン混合液を膀胱内に注入し、症状の改善を図る治療			
医療技術名	抗CD20モノクローナル抗体におけるABO不適合腎移植時の脾臓摘出回避の検討	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 ABO血液型不適合生体腎移植に際して抗CD20モノクローナル抗体(Rituximab)を使用することにより、以前より施行していた脾臓摘出回避が可能であるかを検討し、その薬剤の拒絶反応予防効果を判定する。			
医療技術名	網膜血流の測定	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 網膜の血流を各疾患においてレーザースペックル法を用いて測定する。その結果から網膜光凝固の至適条件を決めることができる。			
医療技術名	難聴の遺伝子解析と臨床応用に関する研究	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 難聴の発症メカニズムや原因に応じた適切な治療法の確立を目的とした研究を行っている。研究協力の同意を得た難聴患者の血液からDNAを抽出し、遺伝子解析を行う。既に保険適応に認定されている10遺伝子46変異については、除外としている。			
医療技術名	重症の円形脱毛症に対するステロイド点滴静注パルス療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 重症の円形脱毛症患者にステロイドの点滴静注パルス療法を行うことで、低い副作用で効果的な治療を行うことが可能である。			
医療技術名	小児の円形脱毛症に対するエキシマライト治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 治療選択肢が少ない小児の円形脱毛症患者に対して安全に簡便に行うことができるエキシマライトによる光線治療を試みる。			

医療技術名	頭部血管肉腫に対するソラフェニブによる治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 腎臓癌に適応が認められているソラフェニブを、非常に予後不良である頭部血管肉腫に対して使用し、著効した。			
医療技術名	蜂アレルギーの減感作療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 蜂アレルギー患者において、ホリスター社のハチアレルゲンを用いて、急速減感作および維持療法を行った。ハチ2匹分のアレルゲンを皮下注射しても全身症状は惹起されず、効果が認められた。			
医療技術名	色素性乾皮症の迅速診断	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 色素性乾皮症の診断のため、患者由来培養皮膚線維芽細胞に、既知NER遺伝子(XPA~XPG)のcDNAを発現するレンチウイルスを感染させ、不定期DNA合成(UDS)試験及びRNA合成回復(RRS)試験を実施し、相補された遺伝子を疾患責任遺伝子として一義的に決定する。			
医療技術名	有棘細胞癌、乳房外パジェット癌に対するセンチネルリンパ節生検	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 有棘細胞癌、乳房外パジェット病においてRI法、色素法を併用しセンチネルリンパ節を同定。所属リンパ節転移の評価を行っている。			
医療技術名	乳房外パジェット癌に対するパクリタキセル療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 遠隔転移やリンパ節転移を伴う乳房外パジェット病に対し、monthly docetaxel療法を行っている。使用例において腫瘍の縮小が認められた。			
医療技術名	超音波ガイド下神経ブロックによる術後鎮痛	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要 従来のランドマーク法、通電刺激法を用いた神経ブロックではその効果の確実性、安全性、手技の容易さなどに問題があったが、超音波ガイド下に神経、ブロック針、周囲の組織、局所麻酔薬の拡がりを確認することによって、これらの問題点が克服された。神経ブロックは、侵害刺激の遮断により術後のオピオイド必要量を減らし、嘔気・嘔吐を主とする周術期合併症を減らし、手術後の早期回復、患者の満足度の向上に大きく貢献する。			
医療技術名	ROTEM(Rotation Thromboelastometry)を用いた生体肝移植術中の凝固能モニタリング	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 生体肝移植では出血コントロールのため術中の凝固能モニタリングが重要である。従来の凝固能のモニタリングには検査室におけるプロトロンビン時間(PT)、フィブリノーゲン値(Fib)、血小板数(Plt)を指標とすることが多かったが、いずれも結果参照までに時間を要する。ROTEM(Rotation Thromboelastometry)は手術室内にて5~15分で結果が得られるため、術中の出血に対する迅速な治療につながり、術後の回復にも貢献する。			
医療技術名	分子学的手法による微生物同定検査	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 患者から分離された稀な、あるいは病原性の高い病原体を遺伝子学的手法や蛋白質解析を通して同定する。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	58人	・膿疱性乾癬	6人
・多発性硬化症	54人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	80人	・原発性胆汁性肝硬変	59人
・全身性エリテマトーデス	253人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	65人
・再生不良性貧血	42人	・混合性結合組織病	62人
・サルコイドーシス	117人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	10人	・特発性間質性肺炎	24人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	223人	・網膜色素変性症	13人
・特発性血小板減少性紫斑病	74人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	52人	・肺動脈性肺高血圧症	14人
・潰瘍性大腸炎	162人	・神経線維腫症	30人
・大動脈炎症候群	35人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	17人	・慢性血栓性肺高血圧症	10人
・脊髄小脳変性症	29人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	102人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	28人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	72人	・球脊髄性筋萎縮症	5人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10人
・後縦靭帯骨化症	53人	・肥大型心筋症	16人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	70人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	7人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	60人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	10人	・黄色靭帯骨化症	9人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	69人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	3種類の検討会を毎月開催
部 検 の 状 況	部検症例数 23 例 / 部検率 7.70%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
頸動脈プラークの不安定性の診断と安定化の試み	永田 泉	脳神経外科	1,400,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
高血圧ラットにおける血管原性脳浮腫の研究	林 健太郎	脳神経外科	1,100,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脳梗塞における幹細胞移植療法の効率的効果向上を目指した時期特異性、領域特異性の解明	堀江 信貴	脳神経外科	900,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脳梗塞に対する幹細胞移植後の機能回復の内在性修復メカニズムの解明	日宇 健	脳神経外科	1,400,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
高血糖負荷による血液脳関門障害に対するシロスタゾールの作用	福田 修志	脳神経外科	2,000,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
必要十分細胞数に着目した脳梗塞に対する骨髄間葉系幹細胞移植投与方法の確立	福田 雄高	脳神経外科	1,700,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
基盤研究(B) 心肺蘇生時における脳循環の解明	塩崎 忠彦	救命救急センター	500,000円	補委 文部科学省 科学研究費補助金
基盤研究(A) 侵襲時再生治療に関する研究:血管内細胞移植の確立	小倉 裕司	救命救急センター	1,000,000円	補委 文部科学省 科学研究費補助金
基盤研究(B) 敗血症・多臓器不全における内在性乾細胞機能障害の解析と細胞移植再生治療の開発	松本 直也	救命救急センター	100,000円	補委 文部科学省 科学研究費補助金
献血推進のための効果的な広報戦略等の開発に関する研究	秋田 定伯	形成外科	9,000,000円	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
難治性血管腫・血管奇形についての調査研究	秋田 定伯	形成外科	5,265,000円	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
HIV HCV重複感染血友病患者の長期療養に関する患者参加型研究	秋田 定伯	形成外科	5,000,000円	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
間葉系幹細胞と発生学を考慮した頭蓋顔面再生	秋田 定伯	形成外科	17,420,000円	補委 文部科学省 科学研究費補助金
国際放射線障害治療拠点形成に向けて	秋田 定伯	形成外科	18,720,000円	補委 文部科学省 科学研究費補助金
ヒト脂肪由来幹細胞の障害肺、移植肺への実用化を目指す、肺生着、臓器保護の研究	秋田 定伯	形成外科	5,460,000円	補委 文部科学省 科学研究費補助金
ファイブロサイト及び関連幹細胞による皮弁生着・延長、創傷治癒の新規治療法の開発	吉本 浩	形成外科	5,070,000円	補委 文部科学省 科学研究費補助金
放射線腸炎に対する自家脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた再生治療	吉本 浩	形成外科	5,070,000円	補委 文部科学省 科学研究費補助金
難治性疾患等克服研究事業	尾崎 誠	整形外科	1,200,000円	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
生体材料関連感染症に対する光触媒酸化チタンの臨床応用に向けた研究	日浦 健	整形外科	1,600,000円	補委 独立行政法人 日本学術振興会
歯髄幹細胞を用いた象牙質・歯医療によるウ蝕・歯髄疾患のための治療技術の開発	林 善彦	虫歯治療室	1,000,000円	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
歯延命化をめざす歯髄再生実用隘路解消	林 善彦	虫歯治療室	7,000,000円	補委 独立行政法人 科学技術振興機構

前立腺癌におけるFESの臨床病理学的意義の網羅的検討	宮田 康好	泌尿器科	1,000,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
自然炎症を基盤とした前立腺癌の進展におけるミッドカインの役割解析	井川 掌	泌尿器科	1,100,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
腎癌におけるアノキス抵抗性獲得因子の網羅的解析と予後予測や治療標的としての検討	大庭 康司郎	泌尿器科	1,500,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
細胞老化および関連病態における虚血心保護戦略	澄川 耕二	麻酔科	1,300,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
ストレス誘導性コンディショニングの探索:高炭酸ガス血症の効果	原 哲也	麻酔科	1,400,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
非アルコール性脂肪肝炎に対する麻酔薬の肝虚血保護法の検討:糖尿病薬との相互作用	趙 成三	麻酔科	1,400,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
腎虚血再灌流障害に対する水素の腎保護効果とその分子生物学的機序の解明	三好 宏	麻酔科	900,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
蘇生後症候群におけるRho-kinaseの役割解明	吉富 修	麻酔科	800,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
オピオイドおよびカンナビノイドと二量体化受容体の相互作用の分子機構の解明	北條 美能留	麻酔科	1,300,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
敗血症における微小循環の病態解明:腸管血流と舌下血流の関連性	関野 元裕	麻酔科	700,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
気道過敏性に対する麻酔薬の作用解析—強制オシレーション法を用いて	西岡 健治	麻酔科	700,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
グルタレドキシンの酸化還元制御と心筋細胞における抗アポトーシス効果の解析	稲富 千亜紀	麻酔科	1,100,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
強心薬による薬理的ポストコンディショニング法の開発と分子機序の解明	東島 潮	麻酔科	1,500,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
レミフェンタニル急性耐性形成の分子メカニズム解析	高田 正史	麻酔科	1,100,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
心筋の虚血再灌流障害における強心薬の効果的な投与開始のタイミングと機序の解明	柴田 伊津子	麻酔科	800,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
μ-δオピオイド受容体複合体を介したレミフェンタニルによる鎮痛メカニズムの解明	村田 寛明	麻酔科	900,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
糖尿病ラットでの薬理的ポストコンディショニング法の開発と分子機序の解明	一ノ宮 大雅	麻酔科	900,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
ブタ希釈性凝固障害モデルにおけるROTEMガイド下凝固管理法の開発	前川 拓治	麻酔科	1,500,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
周術期使用薬剤と心筋プレコンディショニングの相互作用に関する検討	松本 周平	麻酔科	1,600,000円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
増殖因子と細胞内シグナル制御による糖尿病網膜症の病的血管の再生治療	鈴間 潔	眼科	1,400,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
自己抗原をプロテオミクスで同定しRAの診断、病態解明、治療に展開する横断的研究	川上 純	第一内科	1,100,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新たな病因自己抗体、LRP4抗体陽性重症筋無力症の臨床像と神経筋接合部病態	本村 政勝	第一内科	800,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会

エフェクター細胞を標的とした1型糖尿病の新規治療法の開発	阿比留 教生	第一内科	1,900,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
シェーグレン症候群におけるHTLV-Iの関与について	中村 英樹	第一内科	1,000,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ループス腎炎におけるCaMKIVを介したポドサイトの機能解析	一瀬 邦弘	第一内科	1,700,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
シェーグレン症候群の疾患特異的microRNAs同定とその治療応用	岩本 直樹	第一内科	1,200,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
非侵襲的な高感度画像から次世代のRA診療のスタンダードを構築する多角的な研究	川尻 真也	第一内科	1,700,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
HTLV-1関連脊髄症発症に関与する細胞内骨格再構成シグナル伝達機構の解明	中村 龍文	第一内科	2,100,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
メタボリックシンドローム発症予知に関する研究～ハイリスク大学生の検出～	山崎 浩則	第一内科	1,500,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
関節リウマチに対するリハビリテーションの効果と客観的評価指標の探索	折口 智樹	第一内科	1,100,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
1型糖尿病の病態解明と発症・進展予知への応用	川崎 英二	第一内科	1,100,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
遺伝性プリオン病の診断法の確立と新規分類・解析法の開発	佐藤 克也	第一内科	1,800,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新規プロテアソーム機能不全症から解明するプロテアソームの正常機能	有馬 和彦	第一内科	1,700,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
近未来の関節リウマチ診断・治療・重症化予防をMRI骨炎から考察する多角的な研究	玉井 慎美	第一内科	1,600,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
IRF-4を標的とした1型糖尿病の新規治療法の開発	赤澤 諭	第一内科	1,000,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
自己免疫性甲状腺疾患におけるエフェクターT細胞の機能解析研究	堀江 一郎	第一内科	900,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的な研究	川上 純	第一内科	1,000,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
自己免疫疾患に関する調査研究	川上 純	第一内科	2,000,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
HTLV-1感染に関連する非ATL非HAM希少疾患の実態把握と病態解明	川上 純	第一内科	1,000,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
関節リウマチの関節破壊機序の解明と関節破壊「ゼロ」を目指す治療法確立に関する研究	川上 純	第一内科	1,600,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
免疫疾患におけるT細胞サブセットの機能異常とその修復法の開発	川上 純	第一内科	1,000,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
難治性SLEに対するボルテゾミブ療法の有効性・安全性検証試験	川上 純	第一内科	1,000,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
免疫性神経疾患に関する調査研究	本村 政勝	第一内科	1,150,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
重症度別治療指針作成に資すHAMの新規バイオマーカー同定と病因細胞を標的とする新規治療法の開発	中村 龍文	第一内科	2,500,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金

免疫性神経疾患に関する調査研究	中村 龍文	第一内科	850,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	吉村 俊朗	第一内科	1,600,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	佐藤 克也	第一内科	6,800,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
研究成果最適展開プログラム(A-STEP)フィージビリティスタディ(FS)・ステージ検索タイプ「抗HTLV-1薬の開発研究」	中村 龍文	第一内科	45,000円	補委	独立行政法人 科学技術振興機構
筋特異性受容体チロシンキナーゼ活性化機構の破綻と筋無力症	本村 政勝	第一内科	1,000,000円	補委	東京大学 医科学研究所
ヒト型GTF抗体をイネに産生させた食べるう蝕予防ワクチンの開発	藤原 卓	小児歯科室	600,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
歯原性間葉細胞の分化制御機構についての研究	釜崎 陽子	小児歯科室	800,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
嚥下障害を有する児童の口腔細菌叢の解析と最新の分類法による誤嚥性肺炎原因菌の同定	佐藤 恭子	小児歯科室	700,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
子どものこころと身体を見守り支援する大規模データ収集とリスク予測モデル構築	藤原 卓	小児歯科室	6,000,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
若年性歯周炎原因菌に対するアンチセンス法を用いた分子標的治療の開発	星野 倫範	小児歯科室	1,200,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新規エナメル芽細胞マーカーSox21は歯原性上皮細胞の分化を調節するのか?	齋藤 幹	小児歯科室	1,000,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ストレプトコッカス・オラーリスによる感染性心内膜炎発症メカニズムの解明	小西 郁理	小児歯科室	1,600,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ポルフィロモナス・ジンジバリスが分泌する新規病原蛋白に関する解析	近藤 好夫	小児歯科室	1,600,000円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
口腔外傷の発生動向にかかる研究	藤原 卓	小児歯科室	500,000円	補委	独立行政法人 科学技術振興機構
障害児のう蝕・歯周疾患等の歯科検診及びその評価と、障害児のう蝕歯周疾患などの予防に冠する研究	藤原 卓	小児歯科室	353,000円	補委	佐世保市
「成人T細胞白血病(ATL)の根治を目指した細胞療法の確立およびそのHTLV-1制御メカニズムの解明に関する研究」	田口 潤	原研内科	500,000円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金

計 16

合計 81

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japanese journal of clinical immunology	A case of Sjogren's syndrome presenting as trigeminal nerve palsy.	Horai Y	第一内科
Modern rheumatology	High serum matrix metalloproteinase 3 is characteristic of patients with paraneoplastic remitting seronegative symmetrical synovitis with pitting edema syndrome.	Origuchi T	第一内科
Modern rheumatology	Magnetic resonance imaging (MRI) detection of synovitis and bone lesions of the wrists and finger joints in early-stage rheumatoid arthritis: comparison of the accuracy of plain MRI-based findings and gadolinium-diethylenetriamine pentaacetic acid-enhanced MRI-based findings.	Tamai M	第一内科
Modern rheumatology	A patient with systemic lupus erythematosus who developed massive small intestinal hemorrhaging during treatment for chronic lupus peritonitis.	Kawashiri S.Y	第一内科
Rheumatology international	Clopidogrel-associated acute arthritis.	Kawashiri S.Y	第一内科
Clinical and experimental rheumatology	Adipogenesis of the mesenchymal stromal cells and bone oedema in rheumatoid arthritis.	Okada A	第一内科
Rheumatology international	Long-term follow-up of adalimumab monotherapy for rheumatoid arthritis in Japanese patients: a report of six cases.	Ichinose K	第一内科
Rheumatology international	A fatal case of acute exacerbation of interstitial lung disease in a patient with rheumatoid arthritis during treatment with tocilizumab.	Kawashiri S.Y	第一内科
Arthritis research & therapy	Serum amyloid A triggers the monosodium urate-mediated mature interleukin-1 β production from human synovial fibroblasts.	Migita K	第一内科
Medicine	Familial Mediterranean fever in Japan.	Migita K	第一内科
Modern rheumatology	A case of IgG4-related pulmonary disease with rapid improvement.	Umeda M	第一内科
The Journal of clinical endocrinology and metabolism	Clinical and genetic characteristics of autoimmune polyglandular syndrome type 3 variant in the Japanese population.	Horie I	第一内科
Journal of neurology, neurosurgery, and psychiatry	Antibodies against the main immunogenic region of the acetylcholine receptor correlate with disease severity in myasthenia gravis.	Masuda T	第一内科
Internal medicine	A case of Japanese spotted fever complicated with central nervous system involvement and multiple organ failure.	Nakata R	第一内科
Med Mycol	Bronchoalveolar lavage galactomannan for the diagnosis of chronic pulmonary aspergillosis.	Izumikawa K	第二内科
Jpn J Infect Dis	Active surveillance of methicillin-resistant Staphylococcus aureus with the BD GeneOhm MRSATM assay in a respiratory ward in Nagasaki, Japan.	Izumikawa K	第二内科
Jpn J Infect Dis	Possible pulmonary cryptococcosis in a patient with Crohn's disease during anti-tumor necrosis factor- α treatment: a case report and literature review.	Takazono T	第二内科
Antimicrob Agents Chemother	Correlation between triazole treatment history and susceptibility in clinically isolated Aspergillus fumigatus.	Tashiro M	第二内科
Antimicrob Agents Chemother	Antifungal susceptibilities of Aspergillus fumigatus clinical isolates in Nagasaki, Japan.	Tashiro M	第二内科
Can J Microbiol	Live Legionella pneumophila induces MUC5AC production by airway epithelial cells independently of intracellular invasion.	Morinaga Y	第二内科

Respiration	A 44-Year-Old Japanese Female with Recurrent Pleuritis.	Takazono T	第二内科
J Infect Chemother	In vivo efficacy and pharmacokinetics of biapenem in a murine model of ventilator-associated pneumonia with <i>Pseudomonas aeruginosa</i> .	Yamada K	第二内科
Intern Med	Clinical characteristics of tertiary hospital patients from whom <i>Acinetobacter calcoaceticus</i> - <i>Acinetobacter baumannii</i> complex strains were isolated.	Yamada K	第二内科
Respiration	Acetaldehyde at a low concentration synergistically exacerbates allergic airway inflammation as an endocrine-disrupting chemical and as a volatile organic compound.	Kawano T	第二内科
Journal of Asthma	Effects of a short-course of pranlukast in combination with systemic corticosteroid on acute asthma exacerbation induced by upper respiratory tract infection.	Matsuse H	第二内科
Intern Med	A case of pathologically confirmed, early-onset, severe chronic obstructive pulmonary disease.	Tsuchida T	第二内科
Multidisciplinary respiratory medicine	Development of imatinibmesylate-induced interstitial lung disease 2 weeks after discontinuation of the treatment: A case report.	Nakashima S	第二内科
Clin Lung Cancer	Direct comparison of 3 PCR methods in detecting EGFR mutations in patients with advanced non-small-cell lung cancer.	Ikeda T	第二内科
Chem Biol Interact	Epigallocatechin gallate suppresses peritoneal fibrosis in mice.	Kitamura M	第二内科
Clin Exp Nephrol	A case of minimal change nephrotic syndrome with immunoglobulin A nephropathy transitioned to focal segmental glomerulosclerosis.	Hirose M	第二内科
Acta Biomater	HSP47 siRNA conjugated with cationized gelatin microspheres suppresses peritoneal fibrosis in mice.	Obata Y	第二内科
Ren Fail	Involvement of Lymphocyte Infiltration in the Progression of Mouse Peritoneal Fibrosis Model.	Nishino T	第二内科
Ren Fail	Identification of a novel mutation and prevalence study for fabry disease in Japanese dialysis patients.	Nishino T	第二内科
Intern Med	An Elderly Patient with Diabetic Nephropathy Complicated by ANCA-associated Nephritis.	Nishino T	第二内科
Intern Med	A case of acute kidney injury with marked hyperuricemia during mizoribine administration.	Nishino T	第二内科
Intern Med	Bacterial peritonitis due to duodenal perforation by a fish bone in an elderly peritoneal dialysis patient.	Nishino T	第二内科
Dig Endosc	Beneficial use of magnifying endoscopy with narrow-band imaging for diagnosing a patient with squamous cell carcinoma of the anal canal.	Morisaki T	消化器内科
Intern Med	Successful management of cap polyposis with eradication of <i>Helicobacter pylori</i> relapsing 15 years after remission on steroid therapy.	Takeshima F	消化器内科
Transpl Int	Human T-cell leukemia virus type 1 infection worsens prognosis of hepatitis C virus-related living donor liver transplantation.	Ichikawa T	消化器内科
Acta Med Nagasaki	Anti-hepatitis C virus activity of geranylgeranylacetone treatment in hepatitis C-infected patients.	Yamaguchi T	消化器内科
Gastroenterol Res Pract	Usefulness of Background Coloration in Detection of Esophago-Pharyngeal Lesions Using NBI Magnification.	Minami H	消化器内科
J Cell Biochem	Branched-chain amino acid deficiency stabilizes insulin-induced vascular endothelial growth factor mRNA in hepatocellular carcinoma cells.	Miuma S	消化器内科
Gastroenterol Res Pract	Baseline serum cholesterol is associated with a response to pegylated interferon alfa-2b and ribavirin therapy for chronic hepatitis C genotype 2.	Taura N	消化器内科
Exp Ther Med	Relationship of α -fetoprotein levels and development of hepatocellular carcinoma in hepatitis C patients with liver cirrhosis.	Taura N	消化器内科

Int Heart J	Comparison of the diagnostic power of transthoracic and transesophageal echocardiography to detect ruptured chordae tendineae.	Minami T	循環器内科
Intern Med	Cleft-like formation of the aortic valve in an adult patient with a single coronary artery.	Kawano H	循環器内科
Intern Med	Cardiogenic Shock due to Left Ventricular Outflow Obstruction and Complete Atrioventricular Block in a Patient with Hypertrophic Cardiomyopathy with Acute Myocarditis.	Kusumoto S	循環器内科
Intern Med	Effects of nasal continuous positive airway pressure on left ventricular concentric hypertrophy in obstructive sleep apnea syndrome.	Koga S	循環器内科
Int Heart J	Very late stent thrombosis caused by rupture of lipid-laden neointima in a self-expanding coronary stent.	Koga S	循環器内科
Cardiovasc Interv and Ther	Culprit segments identified by optical coherence tomography in patients with acute myocardial infarction: Two case reports.	Sato D	循環器内科
Int J Hematol	Successful treatment of a chronic-phase T-315I-mutated chronic myelogenous leukemia patient with a combination of imatinib and interferon-alfa.	Itonaga H	原研内科
Int J Hematol	Late effect of Atomic bomb radiation on myeloid disorders: leukemia and myelodysplastic syndromes.	Tsushima H	原研内科
J Clin Oncol	Concurrent chemoradiotherapy for localized nasal natural killer/T-cell lymphoma: an updated analysis of the Japan clinical oncology group study JCOG0211.	Yamaguchi M	原研内科
Pediatr Surg Int	A gallstone in the Roux-en Y limb during pregnancy in a female patient with biliary atresia.	Obatake M	第一外科
Hepatogastroenterology	Experience of surgical resection for hilar cholangiocarcinomas at a Japanese single cancer institute.	Nanashima A	第一外科
Hepatogastroenterology	Usefulness of omental wrapping to prevent biliary leakage and delayed gastric emptying in left hepatectomy.	Nanashima A	第一外科
Hepatogastroenterology	Evaluation of surgical resection for pancreatic carcinoma at a Japanese single cancer institute.	Nanashima A	第一外科
Hepatogastroenterology	Portal vein anastomosis with parachute method in hepatectomy and pancreatectomy.	Nanashima A	第一外科
Hepatogastroenterology	Comparison of postoperative morbidity in elderly patients who underwent pancreatic resection.	Nanashima A	第一外科
Surg Today	Left sleeve pneumonectomy via a clamshell incision for lung cancer with carinal invasion: report of a case.	Miyazaki T	第一外科
Hepatogastroenterology	Distal pancreatectomy with en bloc celiac resection for locally advanced pancreas carcinoma.	Nanashima A	第一外科
Hepatogastroenterology	Does fibrin glue prevent biliary and pancreatic fistula after surgical resection?	Nanashima A	第一外科
Hepatogastroenterology	Extended right hepatectomy for hilar bile duct carcinoma using the modified liver hanging maneuver.	Nanashima A	第一外科
Lung Cancer	Clinical and molecular analysis of synchronous double lung cancers.	Arai J	第一外科
Pediatr Surg Int	Pancreatic head resection preserving the main pancreatic duct for congenital hyperinsulinism of infancy.	Obatake M	第一外科
Hepatogastroenterology	Relationship between microvessel count and clinicopathological characteristics and postoperative survival in patients with pancreatic carcinoma.	Nanashima A	第一外科
Hepatogastroenterology	Evaluation of surgical resection for gallbladder carcinoma at a Japanese cancer institute.	Nanashima A	第一外科
Hepatogastroenterology	Safety of hepatectomy accompanying combined resection of other organs.	Nanashima A	第一外科

Gen Thorac Cardiovasc Surg	Anterior chest wall reconstruction with titanium plate sandwiched between two polypropylene sheets.	Matsumoto K	第一外科
Anticancer Res	Photodynamic therapy using talaporfin sodium (Laserphyrin ^{OR}) for bile duct carcinoma: a preliminary clinical trial.	Nanashima A	第一外科
Clin Lung Cancer	A multicenter phase II study of adjuvant chemotherapy with oral fluoropyrimidine S-1 for non-small-cell lung cancer: high completion and survival rates.	Tsuchiya T	第一外科
Ann Thorac Surg	Three-dimensional computed tomography for a mediastinal Basal pulmonary artery.	Matsumoto K	第一外科
Pediatr Surg Int	A modified Foker's technique for long gap esophageal atresia.	Mochizuki K	第二外科
Anticancer Res	Nagasaki Study Group for Digestive Organ Cancer Chemotherapy. Effects of intermittent 5-fluorouracil and low-dose cisplatin therapy on advanced and recurrent gastric cancer.	Kanetaka K	第二外科
Hepatogastroenterology	Changes in quality of life after hepatectomy and living donor liver transplantation.	Yamanouchi K	第二外科
Hepatogastroenterology	Surgical Strategy for Main Pancreatic Duct-Type Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm of the Pancreas.	Kuroki T	第二外科
World J Gastroenterol	Immunological milieu in the peritoneal cavity at laparotomy for gastric cancer.	Yoneda A	第二外科
Ann Transplant	The usefulness of a high-speed 3D-image analysis system in pediatric living donor liver transplantation.	Mochizuki K	第二外科
Surg Today	Gastric rupture with necrosis following acute gastric dilatation: report of a case.	Mishima T	第二外科
Transplant Proc	Standardized less invasive living donor hemihepatectomy using the hybrid method through a short upper midline incision.	Soyama A	第二外科
Hepatogastroenterology	The impact of hepatic denervation on the accumulation of hepatic progenitor cells during liver regeneration in rats.	Soyama A	第二外科
Hepatogastroenterology	Management of cytomegalovirus infection after living donor liver transplantation.	Yamanouchi K	第二外科
Hepatogastroenterology	Are there any similarities in the hepatic vascular anatomy among blood relatives?	Inoue S	第二外科
Transpl Infect Di	Is liver-targeted FOXP3 staining beneficial after living-donor liver transplantation?	Eguchi S	第二外科
Pediatr Surg Int	Partial internal biliary diversion for patients with progressive familial intrahepatic cholestasis type 1.	Mochizuki K	第二外科
Hepatogastroenterology	Is preservation of middle hepatic vein tributaries during right hemi-hepatectomy beneficial for live donor liver transplantation?	Eguchi S	第二外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci	Use of stepwise versus straightforward clamping of biliary drainage tubes after living-donor liver transplantation: a prospective, randomized trial.	Eguchi S	第二外科
Cancer Chemother Pharmacol	Use of low-dose combined therapy with gemcitabine and paclitaxel for advanced urothelial cancer patients with resistance to cisplatin-containing therapy: a retrospective analysis.	Miyata Y	泌尿器科
Hum Pathol	High density of tryptase-positive mast cells in patients with renal cell carcinoma on hemodialysis: correlation with expression of stem cell factor and protease activated receptor-2.	Watanabe S	泌尿器科
Prostate	Pathological significance and predictive value for biochemical recurrence of c-Fes expression in prostate cancer.	Miyata Y	泌尿器科
BMC Cancer	Thrombospondin-1-derived 4N1K peptide expression is negatively associated with malignant aggressiveness and prognosis in urothelial carcinoma of the upper urinary tract.	Miyata Y	泌尿器科

Clin Transplant	De novo minimal change disease after ABO-incompatible kidney transplantation.	Mochizuki Y	泌尿器科
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Multicenter trial of carperitide in patients with renal dysfunction undergoing cardiovascular surgery.	Hisatomi K	心臓血管外科
Neurol Med Chir	Usefulness of ultrasonography with a burr-hole transducer during surgery through a burr hole.	Hayashi K	脳神経外科
World Neurosurg	Incidence and clinical features of symptomatic cerebral hyperperfusion syndrome after vascular reconstruction.	Hayashi K	脳神経外科
Stroke	Assessment of carotid plaque stability based on the dynamic enhancement pattern in plaque components with multidetector CT angiography.	Horie N	脳神経外科
Acta Neurochir	Direct arteriovenous fistula at the inferolateral trunk mimicking carotid cavernous fistula without involving the cavernous sinus: a case report.	Horie N	脳神経外科
J Neurosurg	New variant of persistent primitive olfactory artery associated with a ruptured aneurysm.	Horie N	脳神経外科
Acta Neurochir	Selective coil embolization through flow-directed microcatheter for intracranial arteriovenous malformations.	Horie N	脳神経外科
Neurol Med Chir	Repeated Delayed Onset Cerebellar Radiation Injuries After Linear Accelerator-Based Stereotactic Radiosurgery for Vestibular Schwannoma-Case Report-	Ujifuku K	脳神経外科
NJR Digital	Endovascular treatment of intractable bleeding from a traumatic pseudoaneurysm of the internal maxillary artery.	Takeshita T	脳神経外科
Neurol Med Chir	Syringomyelia and arachnoid cysts associated with spinal arachnoiditis following subarachnoid hemorrhage.	Ishizaka S	脳神経外科
Am J Ophthalmol	Succinate increases in the vitreous fluid of patients with active proliferative diabetic retinopathy.	Matsumoto M	眼科
Eur J Ophthalmol	Spontaneous dislocation of in-the-bag intraocular lens primarily in cases with prior vitrectomy.	Matsumoto M	眼科
Journal for Oto-Rhino-Laryngology	Low-Cost High-Speed Imaging System for Observing Vocal Fold Vibration in Voice Disorders.	Kenichi Kaneko	耳鼻咽喉科
European Archives of Oto-Rhino-Laryngology	Binocular and monocular measurements of subjective visual vertical in vestibular loss.	Yuzuru Sainoo	耳鼻咽喉科
Clin Exp Otorhinolaryngol 5 Suppl1	Bilateral cochlear implantation for children in nagasaki, Japan.	Yukihiko Kanda	耳鼻咽喉科
Clin Exp Otorhinolaryngol 5 Suppl1	The Usefulness of Reconstructed 3D Images in Surgical Planning for Cochlear Implantation in a Malformed Ear with an Abnormal Course of the Facial Nerve.	Minoru Hara	耳鼻咽喉科
Clin Exp Otorhinolaryngol 5 Suppl1	What Factors Are Associated with Good Performance in Children with Cochlear Implants? From the Outcome of Various Language Development Tests, Research on Sensory and Communicative Disorders Project in Japan: Nagasaki Experience.	Yukihiko Kanda	耳鼻咽喉科
Clin Exp Dermatol	Periorbital milia-like calcinosis.	Tomita H	皮膚科・アレルギー科
Clin Rheumatol	Increased serum levels of soluble CD163 in patients with scleroderma.	Shimizu K	皮膚科・アレルギー科
Viro J	Attenuation of an adult T-cell leukemia skin lesion after treatment of a concomitant herpes simplex infection: a case study.	Tomita H	皮膚科・アレルギー科
Clin Plast Surg	Early experiences with stem cells in treating chronic wounds.	Akita S	形成外科
Cleft Palate Craniofac J	No evidence of association between 8q24 and susceptibility to nonsyndromic cleft lip with or without palate in Japanese population.	Akita S	形成外科
Radiat Prot Dosim	Autologous adipose-derived regenerative cells are effective for chronic intractable radiation injuries.	Akita S	形成外科

Journal of Investigative Dermatology	miR-196a Downregulation Increases the Expression of Type I and III Collagens in Keloid Fibroblasts.	Kashiyama K	形成外科
Pediatr Int5	Lack of an association between E-selectin gene polymorphisms and risk of Kawasaki disease.	Shirakawa T	小児科
Brain Dev34	Kawasaki disease-associated MERS: pathological insights from SPECT findings.	Sato T	小児科
Journal of Neurology	Modified electroconvulsive therapy for the treatment of refractory schizophrenia-like psychosis associated with Huntington's disease.	Nakano T	精神科神経科
J Hum Genet	Mutations in PRRT2 responsible for paroxysmal kinesigenic dyskinesias also cause benign familial infantile convulsions.	Ono S	精神科神経科
Jpn J Radiol	Use of N-Butyl Cyanoacrylate in Abdominal and Pelvic Embolotherapy: Indications and Techniques, Complications, and Their Management.	Enokizono M	放射線科
Ann Thorac Surg	Triple-barreled aortic dissection developing into quadruple-barreled dissection.	Sueyoshi E	放射線科
Acta Radiol	Endovascular abdominal aortic aneurysm repair: surveillance of endoleak using maximum transverse diameter of aorta on non-enhanced CT.	Nagayama H	放射線科
Can J Cardiol	Cardiac involvement of adult T-cell leukemia/lymphoma.	Nagayama H	放射線科
Biochem Biophys Res Commun	Overexpression of glutaredoxin protects cardiomyocytes against nitric oxide-induced apoptosis with suppressing the S-nitrosylation of proteins and nuclear translocation of GAPDH.	Inadomi C	麻酔科
Anaesthesia and Intensive Care	A new technique for post-pyloric feeding tube placement by palpation in lean critically ill patients.	Sekino M	麻酔科
Shock	Direct protective effects of dexmedetomidine against myocardial ischemia-reperfusion injury in anesthetized pigs.	Yoshitomi O	麻酔科
J Clin Anesth	Cases of esophageal syncope in the early postoperative period.	Nishioka K	麻酔科
Cardiovascular Diabetology	High-dose fasudil preserves postconditioning against myocardial infarction under hyperglycemia in rats: role of mitochondrial KATP channels.	Ichinomiya T	麻酔科
Cardiovascular Diabetology	Hyperglycemia raises the threshold of levosimendan- but not milrinone-induced postconditioning in rat hearts.	Matsumoto S	麻酔科
J Anesth	Comparison between propofol and dexmedetomidine in postoperative sedation after extensive cervical spine surgery.	Terao Y	麻酔科
J Anesth	Effects of neostigmine on bronchoconstriction with continuous electrical stimulation in rats.	Ishii K	麻酔科
Intern Med	Familial mediterranean fever with onset at 66 years of age.	Inoue K	総合診療科
Intern Med	Eosinophilic enteritis: efficiency of the 13C-acetate breath test for assessing the disease activity.	Yoda A	総合診療科
Hepatogastroenterology	Curcumin improves the survival rate after a massive hepatectomy in rats.	Inokuma T	救命救急センター
Hepatogastroenterology	Suppression of reactive oxygen species develops lymph node metastasis in colorectal cancer.	Inokuma T	救命救急センター
J Nutr Sci Vitaminol	Blood folate concentration analyzed by microbiological assay and chemiluminescent immunoassay methods.	Nakazato M	へき地病院再生支援・教育機構
Cancer Epidemiol	Impact of miR-155 and miR-126 as novel biomarkers on the assessment of disease progression and prognosis in adult T-cell leukemia.	Ishihara K	検査部
J Med Microbiol	Identification of bacteria directly from positive blood culture samples by DNA pyrosequencing of the 16S rRNA gene.	Motoshima M	検査部

Diagn Microbiol Infect Dis	Antimicrobial susceptibility and molecular characteristic of 857 methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> isolates from 16 medical centers in Japan (2008-2009): Nationwide survey of community-acquired and nosocomial MRSA.	Yanagihara K	検査部
Arch Pathol Lab Med	Spiral array: a new high-throughput technology covers tissue heterogeneity.	Fukuoka J	病理部
Respir Med	Interstitial pneumonia associated with MPO-ANCA: clinicopathological features of nine patients.	Tanaka T	病理部
Int J Hematol	Heterogeneity in clonal nature in the smoldering subtype of adult T-cell leukemia: continuity from carrier status to smoldering ATL.	Kamihira S	細胞療法部
Virol J	Paradoxical expression of IL-28B mRNA in peripheral blood in human T-cell leukemia virus type-1 mono-infection and co-infection with hepatitis C virus.	Kamihira S	細胞療法部
Anesth Analg	The presence of transverse cervical and dorsal scapular arteries at three ultrasound probe positions commonly used in supraclavicular brachial plexus blockade.	Murata H	手術部
J Clin Immunol	Interweaving MicroRNAs and Proinflammatory Cytokines in Gastric Mucosa with Reference to <i>H. pylori</i> Infection.	Isomoto H	光学医療診療部
J Gastroenterol Hepatol	Gastrointestinal: Novel endocytoscopic findings of gastric low-grade mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma.	Isomoto H	光学医療診療部
J Pharm Pharmacol	Effect of viscous additives on the absorption and hepatic disposition of 5-fluorouracil (5-FU) after application to liver surface in rats.	Kodama Y	薬剤部
Drug Metab Pharmacokinet	Food-drug interaction of tacrolimus with pomelo, ginger, and turmeric juice in rats.	Egashira K	薬剤部
Int Dent J	Monitoring time trends of dental caries experience in permanent teeth in Japanese national surveys.	Kawashita Y	予防歯科室
Arch Oral Biol	Inhibitory effects of IL-12 on experimental tooth movement and root resorption in mice.	Yoshimatsu M	矯正歯科室
J Interferon Cytokine Res	Inhibitory effect of interferon- γ on experimental tooth movement in mice.	Kohara H	矯正歯科室
Am J Dent	Effects of polishing on surface roughness and gloss of S-PRG filled flowable resin composite.	Hosoya Y	小児歯科室
J Dent Res	Glycosphingolipids regulate ameloblastin expression in dental epithelial cells.	Kamasaki Y	小児歯科室
Journal of Dental Sciences	Effects of eluted components from 4-META/MMA-TBB adhesive resin sealer on osteoblastic cell proliferation.	Kawasaki A	虫歯治療室
J Periodontal Res	Peptidoglycan and lipopolysaccharide synergistically enhance bone resorption and osteoclastogenesis.	Kishimoto T	歯周病治療室
J Periodontal Res	The formation of immune complexes is involved in the acute phase of periodontal destruction in rats.	Kuramoto A	歯周病治療室
J Periodontal Res	Topical application of lipopolysaccharide into gingival sulcus promotes periodontal destruction in rats immunized with lipopolysaccharide.	Yoshinaga Y	歯周病治療室
J Biol Chem	A Single Nucleotide Polymorphism in 3'-Untranslated Region Contributes to the Regulation of Toll-Like Receptor 4 Translation.	Sato K	歯周病治療室
Endocrinology	Increased numbers of tartrate-resistant acid phosphatase positive cells on long-term zoledronic acid therapy in mice.	Kuroshima S	冠補綴治療室
J Dent	Effects of primer containing silane and thiophosphate monomers on bonding resin to a leucite-reinforced ceramic.	Taira Y	冠補綴治療室
J Oral Implantol	A modified technique for removing a failed abutment screw from an implant with a custom guide tube.	Taira Y	冠補綴治療室
Odontology	Properties of indirect composites reinforced with monomer-impregnated glass fiber.	Tanoue N	冠補綴治療室

Dent Mater J	Influence of air-abrasion and subsequent heat treatment on bonding between zirconia framework material and indirect composites.	Shimoe S	冠補綴治療室
Dent Mater J	Viscosity and adhesion strength of cream-type denture adhesives and mouth moisturizers.	Kano H	義歯補綴治療室
Int J Oral Maxillofac Surg	Clinicopathological risk factors for local recurrence in oral squamous cell carcinoma.	Yanamoto S	口腔顎顔面外科室
J Oral Maxillofac Surg Med Pathol	Intramuscular lipoma of the tongue: Report of a case complicated with diffuse lipomatosis.	Naruse T	口腔顎顔面外科室
J Oral Maxillofac Surg Med Pathol	Solitary neurofibroma of the maxillary sinus: Report of a case.	Rokutanda S	口腔顎顔面外科室
Kobe J Med Sci.	A new in vitro invasion model for oral cancer using an acellular allogenic dermal matrix (Alloderm): the relationship among in vitro invasion activity, in vivo invasion and metastasis.	Takahashi H	口腔顎顔面外科室
J Dent Res	Formation of engineered bone with adipose stromal cells from buccal fat pad.	Shiraishi T	顎口腔再生外科室
Cytherapy	Characteristic difference in the composition of osteogenic cell populations of BMSCs isolated from untreated, hemolysed, or Ficoll-treated rat bone marrow.	Agata H	顎口腔再生外科室
Int J Oral Maxillofac Surg	Octacalcium phosphate collagen composites with titanium mesh facilitate alveolar augmentation in canine mandibular bone defects.	Miura K	顎口腔再生外科室
Cranio	A case of refractory perforation at the floor of the mouth with ectopic bone formation.	Ohba S	顎口腔再生外科室
Injury Extra	Application of ultrasonic probe with a needle for surveying afish bone embedded in the tongue.	Minamizato T	顎口腔再生外科室
AJNR Am J Neuroradiol	Efficacy of Diffusion-Weighted Imaging for the Differentiation between Lymphomas and Carcinomas of the Nasopharynx and Oropharynx: Correlations of Apparent Diffusion Coefficients and Histologic Features.	Ichikawa Y	歯科放射線室
Radiology	Salivary gland tumors: use of intravoxel incoherent motion MR imaging for assessment of diffusion and perfusion for the differentiation of benign from malignant tumors.	Sumi M	歯科放射線室
Oral Radiol	Apparent diffusion coefficient characterization of the fluid areas in cystic and abscess lesions of the neck.	Ichikawa Y	歯科放射線室
Oral Radiol Oral Radiol	Imaging features of the lacrimal and salivary glands of patients with IgG4-related Mikulicz's disease; a report of three cases.	Sumi T	歯科放射線室
Eur J Radiol	Comparison between ultrasonography and MR imaging for discriminating squamous cell carcinoma nodes with extranodal spread in the neck.	Katayama I	歯科放射線室
Arch Oral Biol	Effects of chewing efforts on sensory and pain thresholds in human facial skin: A pilot study.	Okayasu I	麻酔・生体管理室
Dent Mater	Principal component analysis for dental shade color.	Yamamoto S	医療教育開発センター
J Dent Res	Assessment of the Plasma/Serum IgG Test to Screen for Periodontitis.	Kudo C	医療教育開発センター

計 19

合計 182

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 河野 茂
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 雅孝 薬剤部長 佐々木 均 総務課長 大西 文昭 医事課長 横山 哲也 医療支援課 浜村 博

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科	病院日誌は総務課、処方せんは薬剤部、エックス線写真は放射線部、その他は各診療科で保存
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課、医事課
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療支援課
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十一の第一項の各号及び第九の二十	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療支援課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療支援課

	三 第 一 項 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
--	--	-------

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第一項各号及び第九條の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況 院内感染のための指針の策定状況	感染制御教育センター、医療支援課	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御教育センター、医療支援課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御教育センター、医療支援課	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御教育センター	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		

	医療機器の安全使用 のために必要となる情 報の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善のための方 策の実施状況	ME機器センター	
--	---	----------	--

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	丸野 和年
閲覧担当者氏名	大西 文昭
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	82.4%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,483人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,438人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,343人
	D: 初診の患者の数		24,042人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○医療安全管理に関する基本的考え方○医療事故防止委員会及びその他の組織に関する基本事項○医療安全管理のための職員研修に関する基本方針○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針○医療事故発生時の対応に関する基本方針○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針○患者等からの相談への対応に関する基本方針○その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 2 4 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○医療事故防止委員会 (月 1 回開催) <ul style="list-style-type: none">・院内インシデント・アクシデント報告等情報収集・医療事故防止のための具体的対策等の検討及び推進・医療事故防止のための教育及び研修等の決定○リスクマネージャー会議 (月 1 回開催) <ul style="list-style-type: none">・インシデント・アクシデントレポートの分析の報告	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：別紙のとおり	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：別紙のとおり	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (10) 名活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○医療事故防止委員会の運営支援 ○インシデントレポートの分析 ○リスクマネージャーとの連絡調整 ○安全管理に関する教育・研修 ○安全管理に関する情報の収集 ○事故等に関する確認と指導	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 指針の主な内容： 1)病院感染対策に関する基本的な考え方、2)院内感染対策委員会の設置、3)職員研修開催および受講率の向上、4)病院感染発生時の対応、5)感染対策マニュアルの設置および随時改訂、6)患者への情報提供と説明、7)その他の病院における院内感染対策の推進について記してある</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容： ICT会議で協議された事項（耐性菌サーベイランス、感染症発生状況、抗菌薬使用状況、蓄尿使用率推移、手指衛生遵守状況等）について審議し、周知を図る。また院内感染症のアウトブレイクや新型インフルエンザ発生時には臨時に委員会を開催し調査・協議を行い、方針を決定する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：全職員を対象に年3回の院内感染対策講習会を行い、各職員2回の参加を求めている。またDVDおよびe-ラーニングにて当日受講できなかったものへの補講を行うことにより受講率向上に努めている。 平成24年度例 第1回：マニュアル改訂について、第2回微生物検査室から見た院内換算対策における耐性菌について、第3回水回り（湿潤環境）を好む微生物に対する感染対策・パスにおける抗菌薬の適正使用について・感染対策当院のルール2012年の変更点 また清掃業者、看護業務ヘルパーを対象に年に1回感染対策に関する講習会を実施している。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 毎日のミーティングにて検査部から耐性菌検出例、無菌検体からの培養陽性例について報告がある。また週に1回検出された微生物について最終同定結果の報告がある。また、結核、感染性胃腸炎、インフルエンザの検出時にはリアルタイムに検査部から感染制御教育センターへ報告がある。また院内感染対策上重要な微生物の検出や、感染症法にて届出の必要な感染症症例があった場合には主治医から感染制御教育センターへ感染症発生報告書の提出を行い、アウトブレイクの早期発見に努めている。 日々の報告で耐性菌が検出された場合には、患者情報を収集し直接病棟へ赴き、伝播防止対策の徹底を図っている。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【前年度】</p> <p>・「ヨード造影剤とヒグアナイト系糖尿病薬との併用注意について」（講師：薬剤部薬品情報室長）、実施日：平成24年6月18日、イントラネット動画研修、受講人員：1889人（84%）</p> <p>・「抗がん剤の処方について」（講師：薬剤部製剤室長）、実施日：平成25年2月13日、イントラネット動画研修、受講人員：1510人（71%）</p> <p>【今年度】</p> <p>・「院内製剤の取り扱いについて」（講師：薬剤部製剤室長）、実施日：平成25年7月16日、イントラネット動画研修、受講人員：1846人（81%）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項（購入～薬剤部内の管理） 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4. 患者に対する服薬指導に関する事項 5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い 6. 病棟、中央診療部門における医薬品の管理 7. 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項 8. 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等 9. 薬剤投与のための機器使用 10. 放射性医薬品の管理 11. 臨床検査薬の管理 12. 造影剤の管理、使用 13. 院内製剤の取り扱いについて 14. 当該手順書の順守状況の確認 <p>実施状況：年1回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>【収集方法】</p> <p>医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようにしている。</p> <p>【周知方法】</p> <p>改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。また、病棟、診療科（診療科長、医局長）、中央診療部（部長、副部長等）に対しては、緊急安全性情報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI newsの情報発信を行っている。緊急安全性情報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、口頭にて周知を図っている。</p> <p>また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム（DICS）には改訂された添付文書の情報更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 22回
・ 研修の主な内容：有効性・安全性に関する事項、使用方法に関する事項、保守点検に関する事項、不具合が発生した場合の対応に関する事項、使用に関して特に法令上遵守すべき事項など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (①・無) ・ 保守点検の主な内容：メーカーが推奨する性能試験、電気的安全試験などを実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：日本医療機能評価機構やPMDAなどからの情報を収集し、RMニュースとして各リスクマネージャーへ周知している。また、ME機器センターホームページへも掲載している。機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能としている。	

③医療に係る安全管理のための職員研修会の開催状況【年9回】

【研修の主な内容】

全職員対象（4回実施）

1. 第1回安全管理研修会（計1,951名）
 - (1) 開催日：平成24年6月18日
 - (2) 研修内容：
 - ①適正輸血のためのガイドライン改定について
 - ②患者情報の活用と保護について
 - ③個人情報の流出の事例について
 - ④ヨード造影剤とビグアナイド系糖尿病薬との併用注意について
2. 医療安全推進週間 第2回安全管理研修会（計1,933名）
 - (1) 開催日：平成24年8月28日
 - (2) 研修内容：
 - ①安全管理と外部評価の重要性
 - ②当院のインシデント報告の中の転倒・転落の現状と対策について
3. 第3回安全管理研修会（計1,796名）
 - (1) 開催日：平成24年11月16日
 - (2) 研修内容：みんなで取り組む感染対策と医療安全
4. 第4回安全管理研修会（計1,515名）
 - (1) 開催日：平成25年2月13日
 - (2) 研修内容：
 - ①輸血の安全性を高める
 - ②医療安全要因分析について

新採用者・他職種合同（5回実施）

1. 平成24年度新採用者・他職種合同KYT研修会（計182名）
 - (1) 開催日：
 - ①平成24年8月21日（37名）
 - ②平成24年8月30日（41名）
 - ③平成24年9月18日（38名）
 - ④平成24年10月5日（32名）
 - ⑤平成24年10月19日（34名）
 - (2) 研修内容：KYT研修会（グループワーク）

④医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

【その他の改善のための方策の主な内容】

- 医療事故防止対策マニュアルの改訂
- インシデントレポート報告システムの改良
- 安全管理部部員等による院内巡視
- 医療安全ポケットマニュアルの改訂
- 安全管理部カンファレンス（週1回実施）